

噴火を想定したロールプレイング方式防災訓練を実施

日時 平成24年2月16日(木) 14:00~16:00
場所 利根川水系砂防事務所
参加機関 32機関
参加者 約120名
主催 浅間山火山防災対策連絡会議・利根川水系砂防事務所

利根川水系砂防事務所、長野国道事務所、陸上自衛隊、群馬県、長野県、嬭恋村、長野原町、小諸市、佐久市、軽井沢町、御代田町、警察、消防、気象庁、林野庁、しなの鉄道、東日本高速道路(株)

<実施目的>

浅間山噴火に伴う火山災害を最小限に抑えるためには、平常時から危機管理対応や関係機関との連携が重要となっています。平成16年9月に発生した噴火時には連携が十分でなかったため平成20年より各機関の防災体制の確認と情報共有の強化を目的としたロールプレイング訓練を実施するものです。今回は浅間山の中規模噴火により発生した融雪型火山泥流への対応や道路管理者を始めとする関係機関との情報共有の訓練を行いました。

①訓練実施前の状況

●訓練前提条件

- 2.14 10時前後中規模噴火発生 噴火警戒レベル5
融雪型火山泥流が蛇堀川に流下
泥流土砂による大きな被害なし
- 2.15 噴火警戒レベル5からレベル3に下がる
浅間山周辺に平均90cm程度の積雪

②訓練開始

- 14時30分 中規模噴火発生
- 14時45分 濁川で融雪型火山泥流発生
- 14時50分 御代田駅の線路内に土砂が氾濫
- 15時15分 濁川以外は被害なし

防災訓練のシナリオ

ロールプレイング方式訓練とは?

防災訓練には実働型と図上型があり、ロールプレイング方式防災訓練は、図上型の訓練になります。

コントローラー(訓練計画者)、プレイヤー(訓練を受ける者)、評価者に分かれ、コントローラーの立てたシナリオに沿って、プレイヤーが①状況把握 ②検討・判断 ③意思決定 ④対応行動を机上で行う訓練です。



参加機関の各プレイヤー訓練状況



プレイヤー訓練全景



コントローラー訓練全景



見学者控室



プレイヤー参加者からの問題点・感想



荒牧重雄東大名誉教授による講評



西 真佐人事務所長による講評